

県大・市大 公開講座 2016

県立広島大学 × 広島市立大学
連携公開講座

ひろしま学を 考える

平成25・26・27年度に引き続き「ひろしま学を考える」を開催します。4年目を迎えた今回の「ひろしま学」が対象とするのは、古代から現代に至るまで、時を超えてひろく広島県域で暮らした人々、活躍した人の営みです。二つの大学の4人の講師が「もの」や「資料」あるいは「作品」を手がかりとして、広島に生きた特定の個人や名もなき人々をみつめ、それぞれの視点で「ひろしま」を解きあかします。「ひろしま」のことを、もっとよく知りたいとお考えの皆さんのご参加をお待ちしています。

対象
どなたでも

受講料
無料

定員
80名

7/6

7/13

7/20

7/27

■ 中世・近世のひろしまの絵画
広島市立大学 准教授 城市 真理子

● ひろしまの英学：明治期を中心に
県立広島大学 教授 馬本 勉

■ サダコとイサム・ノグチから見るヒロシマ
広島市立大学 教授 前川 義春

● ひろしまの海がつないだ人・物・情報 - よみがえる中世の港町 -
県立広島大学 准教授 鈴木 康之

7月6日 - 7月27日（毎週水曜日） 18:20 - 19:50

会場：サテライトキャンパスひろしま

申込方法 往復はがきで、

往信面の裏 ①郵便番号、②住所、③名前（ふりがな）、④電話番号

返信面の表 受講者の郵便番号、住所、名前（「〇〇〇〇様」）

をご記入の上、県立広島大学地域連携センター「ひろしま学講座」係宛にお申し込みください。

※ 締切：平成28年6月21日（火）[消印有効]

※ 申込多数の場合は抽選とし、受講の可否は申込締切日以降に返信はがきで通知します。

申込・問合せ先

〒734-8558 広島市南区宇品東一丁目1番71号

県立広島大学地域連携センター「ひろしま学講座」係

TEL：082-251-9534

県立広島大学
Prefectural University of Hiroshima

3つのひかり 未来をつくる
広島市立大学
Hiroshima City University

講座の内容 [全4回]



- 7月6日 ひろしまの海がつないだ人・物・情報 - よみがえる中世の港町 -
県立広島大学 准教授 鈴木 康之

ひろしまの海を舞台に、鎌倉・室町時代の人々はどのような物資・情報を流通させていたのでしょうか？広島県域を中心とする中世遺跡の発掘調査成果をまじえながら、瀬戸内海をめぐる物資の動きを復元し、人々の交流する姿や地域の特徴を明らかにします。

- 7月13日 サダコとイサム・ノグチから見るヒロシマ
広島市立大学 教授 前川 義春

平和記念公園にある「原爆の子の像」のモデルとなった佐々木禎子（サダコ）さんの物語を通して、被爆70年を振り返りその記憶を新たにすると共に、「原爆の子の像」を制作した菊池一雄や、「平和大橋」を制作したイサム・ノグチなどの彫刻家を通して、芸術面からヒロシマの被爆と戦後復興について解説します。

- 7月20日 ひろしまの英学：明治期を中心に
県立広島大学 教授 馬本 勉

幕末以降、英語を通じて行われた学問を総称して「英学」と呼びますが、明治期には「英学ブーム」が起こり、多くの出版物や英学を講じる塾が各地に広がっていきます。広島県地域も例外ではありません。本講座では、史料との対話を通じて、広島県における英学の歴史を追ってみたいと思います。

- 7月27日 中世・近世のひろしまの絵画
広島市立大学 准教授 城市 真理子

ひろしまには、厳島神社に伝来した平家納経をはじめとする優れた仏教美術、禅宗寺院や大名家に伝わった中世の水墨画や絵巻、近世の文人画などがあります。都市文化・宗教文化を育んだ、ひろしまゆかりの絵画を、日本美術史の流れの中において解説します。

サテライトキャンパスひろしま

広島県民文化センター 5・6階

〒730-0051

広島市中区大手町1丁目5-3

TEL : 082-258-3131

FAX : 082-258-3010

